

岡山市立福島小学校 2007年度 国際理解教育 活動報告書

1 岡山市立福島小学校 6年 男子 31名 女子 32名 計63名

2 活動

< 1学期 > 世界の現実を知ろう

本やインターネットなどを利用して世界の現実について調べ,各自レポートにまとめ,意見交換会をした。

< 2学期 > 自分たちにできることを考えて実行しよう

9月 : 田代さんのお話を聞いて自分たちのこれからの活動について考えた。

10~12月: 自分たちにできる活動を考えて実践した。

11月 : 檜尾先生・スライミーさんにカンボジアのチェイ小学校むつみ日本語教室のことに  
お話を聞き,交流の仕方について話し合った。

漢字カードを作って贈った。

福島小学校の学校生活を紹介するカレンダーを作って贈った

福笑いやお手玉を作って贈った

歌のプレゼント

手提げ袋を作って贈った

生活に役立つ物を集めて贈った

勉強に役立つ物を集めて贈った

以上 チェイ小学校むつみ日本語教室

ユニセフ募金

12月 : 芳明小学校とTV会議(互いの実践活動について交流)

< 3学期 >

実践活動のまとめ 福島子どもフォーラム(発表,掲示)

1年間の学習を通して,学んだこと

- ・小さなことであっても続けることが大事
- ・総合の勉強は 階段のようだった。一步一步上っていくと,少しずつだけど自分たちの力になっていくとが分かった。
- ・一人の力は小さいけれど,みんなでするとたくさんの成果が得られる。
- ・できる人ができることをできるだけ長く続けることが大事
- ・募金活動をしている人を見かけても,以前は何とも感じなかったけれど,応援したいと思うようになった。